

— 二大街道絵展「東海道と木曾街道の旅」 —



前期に引き続き東海道と中仙道の作品を紹介し
ます。

「東海道五拾三次之内」は天保4年頃55枚を制作し、好評を博し江戸で風景版画を広める契機になりました。この作品の成功により広重には様々な版元（出版社）から仕事が来るようになりました。そのため当初、広重が制作予定をしていた「木曾街道六拾九次之内」（版元は竹内孫八（保永堂）と伊勢屋利兵衛（錦樹堂）大判71枚）は溪斎英泉（1791～1848）が起筆しますが、24図制作したところで広重に替わり広重が47図を描き完成させました。しかしこの作品が完結するまでにさまざまなトラブルがあったようで約10年の歳月を要してしまいました。そのため版元は竹内孫八（保永堂）から伊勢屋利兵衛（錦樹堂）に替わり完結したところで版元は山田屋庄次郎（山庄）の手に渡りました。そのため東海道シリーズに比べ初摺の作品を蒐集することが難しく、特に「中津川」宿については世界に数十枚しか存在しません。

図の「木曾街道六十九次之内 中津川」は、木曾街道46番目の宿場で美濃の国になります。右側は立場茶屋です。中津川宿と次の大井町宿の距離が長かったため人馬の休息所として作られた場所で、中津川の宿場を出て中津川を渡った駒場（こまんば）辺りでしょう。ここは古代の東山道



「木曾街道六十九次之内 中津川」

の坂本駅があった場所と言われています。中央に配した松の木の右側には武士と思われる人がおり、三人は袖合羽と菅笠、二人は惣両掛、一人は飾り槍を担いでいます。同じような服装の人たちがまだ立場茶屋にいます。左側の手前の池には白鷺が3羽佇んでいます。黒い天ぼかしの空や胡粉を混ぜた量感を出した雨の線と背後に聳え立つ恵那山の山肌が辺りの暗澹とした重苦しさを表現していますが、遠方の空は明るく、まもなく雨が上がる予感をさせています。

馬頭広重美術館 主任学芸員 市川信也

【会 期】 後期：10月8日(金)～11月14日(日)

【ミュージアムトーク(展示解説)】 当館学芸員

後期：10月9日(土) 午後1時30分～

【開館時間】 午前9時30分～午後5時まで

(但し入館は午後4時30分まで)

【休 館 日】 月曜日、祝日の翌日

広報紙に広告を掲載しませんか？

掲載位置：各ページの下一段

サイ ズ：縦50mm×横88mm

料 金：2色刷 1回 5,000円～

カラー刷(裏表紙のみ) 1回10,000円～

※複数月連続掲載の場合は割引あり

申込期限：掲載希望する月の初日の40日前

※10月22日までに申し込まれた場合、12月号から掲載可

※詳しくは企画財政課広報広聴係 (☎0287-92-1114) までお問い合わせください。

那須ナンバー開設記念月間

10月9日(土)～10月31日(日)

那珂川町にお住まいの方は

入国無料!

*入国ゲートにて住所の分かる証明書をご提示下さい。

那須どうぶつ王国
NASU ANIMAL KINGDOM

栃木県那須郡那珂川町大字大島10-42-1 平日10:00～16:30
TEL 0287-77-1110 土曜9:00～17:00
http://www.nasu-oukoku.com/ 定休日:水曜日(夏休み・お盆休み)

